

SCREEN

## 高速道路標識と ヒラギノフォント

2011年12月2日

大日本スクリーン製造株式会社  
フォント課 三橋洋一

DAI NIPPON SCREEN MFG CO. LTD.

SCREEN

### 高速道路標識にヒラギノ採用

- 2010年12月14日の朝日新聞夕刊一面  
トップで報道
- TVニュース、twitter、ブログなど各種メ  
ディアで大きな話題に（賛否両方あり）

DAI NIPPON SCREEN MFG CO. LTD.

SCREEN

### 高速道路標識にヒラギノ採用

朝日新聞 2010年12月14日 夕刊 1面 (大阪版)

DAI NIPPON SCREEN MFG CO. LTD.

SCREEN

### 高速道路標識にヒラギノ採用

アサヒ・コム 2010年12月14日

DAI NIPPON SCREEN MFG CO. LTD.

SCREEN

### 高速道路標識にヒラギノ採用

東京読売新聞 2011年11月9日 (21面)      読売新聞 2011年11月17日 (関西19面)

DAI NIPPON SCREEN MFG CO. LTD.

SCREEN

### 高速道路新標識にヒラギノ採用

- 長年使われてきた「公団ゴシック」に代わ  
り「ヒラギノ角ゴシック体 W5」が採用
- 書体変更は、1963年に高速道路が開通し  
て以来はじめて
- 新標識は2010年7月から全国の高速道路  
に順次設置（新規開通や付け替え時）

DAI NIPPON SCREEN MFG CO. LTD.

SCREEN インデックス

- 高速道路標識書体（公団文字）について
- ヒラギノフォントについて
- 高速道路新標識フォントの選定について

6

SCREEN

高速道路標識書体  
（公団文字）について

7

SCREEN 高速道路の案内標識

- 1963年（昭和38年）に現在の標識レイアウトの原型が固まり、名神高速道路で採用
- 40年以上大きく変わることなく現在に至る
- 文字形状としては「公団文字」が採用

※参考：NEXCO「より視認しやすい高速道路標識を目指した標識レイアウトの変更について」（2011年3月）

8

SCREEN 公団文字について

公団文字（公団ゴシック）サンプル

9

SCREEN 公団文字について

- 1字ずつ必要に応じて制作されてきたオリジナルフォント
- 字の画線を直線的に造形
- 画やハネなどを独自の判断で省略
- 多くの字が基準枠の全体を使うように作字

公団文字（公団ゴシック）サンプル

※参考：NEXCO「より視認しやすい高速道路標識を目指した標識レイアウトの変更について」（2011年3月）

10

SCREEN 公団文字の課題

- 視認性については特に問題なし
- 画やハネなどを独自の判断で省略しているため、正しい字が疑われる
  - 一部の字は誤字と指摘されることがある

※参考：NEXCO「より視認しやすい高速道路標識を目指した標識レイアウトの変更について」（2011年3月）

11





SCREEN 書体設計の基本要素：重心

③重心：腰の高さ

- 重心高い → クラシックな印象（縦組適性）
- 重心低い → 若い雰囲気になる（横組適性）
- ヒラギノは視覚的に中位置になるよう設定
  - ・ 若く現代的な感覚、縦横両方向に親和性

東 東 東

重心高い      ヒラギノ明朝体 W3      重心低い

24

SCREEN ヒラギノフォントの特徴

均等なアキ

紫

版面のグレートーンを描えるため、アキが均一になるよう設計されています。小さなサイズや画面上でもつぶれにくく画像との相性もよく、ページレイアウト全体のバランスを整えます。

25

SCREEN ヒラギノフォントの特徴

■ 縦画・横画のアクセント

- 単純な直線にすると先細りに見える＝錯視
  - ・ アクセントをつけることで錯視補正

東 永

26

SCREEN 高速道路標識フォントの選定について

27

SCREEN 高速道路の案内標識

■ 和文用公団文字と同等以上の視認性を有し、正確で標識メーカーによるばらつきが生じない市販デジタルフォントを選定

■ 視認性に優れた角ゴシックの中から以下の4書体を検討対象として選定

- 国土交通省の推奨書体（3書体）
- 日本道路公団が過去に行った視認性実験の結果から「ヒラギノ角ゴシック」

※参考：NEXCO「より視認しやすい高速道路標識を目指した標識レイアウトの変更について」（2011年3月）

28

SCREEN 各フォントの視認性比較

■ むけのよさの比較

- むけのよさ：視認性を確保する条件の1つ
  - ・ むけが悪いと画と画の間隙が見えなくなる
  - ・ 「ぼかし印刷」で検証
- 結果：4フォントで大きな違いは無し

山 永 見 越 道 原 関 藤  
山 永 見 越 道 原 関 藤  
山 永 見 越 道 原 関 藤  
山 永 見 越 道 原 関 藤

※参考：NEXCO「より視認しやすい高速道路標識を目指した標識レイアウトの変更について」（2011年3月）

29

SCREEN オブジェクト・エンハンスメント

■ 各文字の詳細部を比較

- ヒラギノ角ゴのみ、字画先端部に「オブジェクト・エンハンスメント」が施されている
  - 遠方からの視認性に特に優れていると判断

※参考：NEXCO「より視認しやすい高速道路標識を目指した標識レイアウトの変更について」（2011年3月）

30

SCREEN 字の構成のつかみやすさ

■ 「潟」や「都」の例

- 「さんずい」や「おおざと」が大きく、字の構成を掴みやすい
  - 遠方からの視認性に特に優れていると判断

※参考：NEXCO「より視認しやすい高速道路標識を目指した標識レイアウトの変更について」（2011年3月）

31

SCREEN レイアウトの検討

■ レイアウトの検討

- 標識板サイズは変更しない
  - 支柱の建て替えを必要としない
- 基本的なレイアウトは変更しない
- 今後増える高齢者や外国人ドライバーのため文字サイズを拡大

■ 文字サイズの設定

- 文字部分は50%未満、余白率は50%超
  - 情報量が多いと必要な情報を瞬時に判読できない
- 所定の文字間隔を確保（単語間は文字幅の6割程度）
- その他、英文/和文文字高比率、英文長体率などを細かく規定

※参考：NEXCO「より視認しやすい高速道路標識を目指した標識レイアウトの変更について」（2011年3月）

32

SCREEN 標識視認性実験

■ 標識視認性実験

- 提案標識の現行標識に対する視認性向上の程度やユーザーに与えるイメージを把握

※参考：NEXCO「より視認しやすい高速道路標識を目指した標識レイアウトの変更について」（2011年3月）

33

SCREEN レイアウト案の決定

■ 前述の検討および視認性実験により、レイアウト案を以下の通り決定

（上記の標識は、視認性実験用に作成したもので、実際に設置される標識の表現とは異なります）

※参考：NEXCO「より視認しやすい高速道路標識を目指した標識レイアウトの変更について」（2011年3月）

34

SCREEN まとめ

■ ヒラギノはビジュアル雑誌など画像を多用する媒体の本文・見出し用途が当初のターゲット

- その設計が高速道路標識用書体としての適性と一致

| 選定ポイント          | ヒラギノの特徴                                  | 紫東国 |
|-----------------|--|-----|
| ぬけのよさ           | 均等な空き<br>やや大きめの字面とフトコロ                   |     |
| オブジェクト・エンハンスメント | 錯視補正のため施された縦画・横画のアクセント                   |     |
| 字の構成のつかみやすさ     | 均等な空き<br>やや大きめの字面とフトコロ<br>(大きすぎず、小さすぎない) |     |

※参考：NEXCO「より視認しやすい高速道路標識を目指した標識レイアウトの変更について」（2011年3月）

35